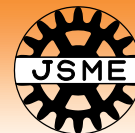




日本機械学会

ロボティクス・メカトロニクス部門部門便り

2014年10月



ロボティクス・メカトロニクス講演会2014 (ROBOMECH2014 in Toyama) 開催報告

開催日：2014年5月25日(日)～29日(木) 会場：富山市総合体育館(富山)

講演会URL：<http://www.jsme.or.jp/rmd/robomech2014/>

ROBOMECH2014 実行委員長 柴田 崇徳 (産総研)

ROBOMECH2014 in Toyamaは「社会に役立つロボティクス・メカトロニクス」をテーマに、2014年5月25日～29日の日程で富山市にて開催いたしました。今回はポスター発表件数1,285件、参加者延総数2,167人となりました。25日は、社会講座・特別講演会「社会に役立つロボット・メカトロニクス研究開発の国内外の動向と展望」を開催し、6件の特別講演として植村佳代先生から「わが国介護ロボット産業の発展に向けた課題と展望～北欧にみるユーザー・ドリブン・イノベーションの重要性～」、金広文男先生から「安全・安心な社会を支えるロボット開発～日本のロボット開発プロジェクト～」、杉野岳先生から「スギノマシンにおけるロボット開発の取り組み～CFRP切断から除染ロボットまで～」、川田忠裕先生から「川田工業(株)のロボット事業について」、稲葉雅幸先生から「東京大学における知能ロボット研究-ヒューマノイドの研究とその動向」、福田敏男先生から「最近のマイクロナノロボット技術の進歩」のご講演を頂き、多くの参加者と活発な討論がなされました。また「小中学生向けロボット製作教室」と、「中学校教員向けプログラミング講座」では地域からの多くの参加者が真剣な眼差しで取り組んでいました。さらに、チュートリアルが2件とワークショップが2件開催され、それぞれ活発に議論されました。

学術講演会本体のポスター発表は、近年、発表件数と参加者が増大しているため、26日から28日までの3日間とし、ゆとりをもって活発な討論が行われ、大盛況のうちに終了いたしました。また、4件の特別講演として、小菅一弘先生から「実問題に学ぶ“Project AIR”」、田中一正先生から「介護・福祉ロボット市場の将来と課題」、塩井保彦先生から「先用後利が原点！～廣貫堂のイノベーション～」、浅間一先生から「災害対応のためのロボット技術開発とその活用・運用」について、それぞれ満席・立見の中、興味深いお話を頂きました。さらに、46社による機器展示でも、活発な質疑応答がなされました。29日には、地域のロボット関連産業と伝統文化を見学する2つのテクニカル・ツアーに多くの方々にご参加をいただきました。ご協力を賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。



ROBOMECH 2014 会場の様子

部門賞・部門一般表彰報告

去る2014年5月27日(火)に、富山市で開催されましたロボティクス・メカトロニクス講演会2014にて、前年度の功績・業績を讃えまして各賞の表彰式が行われました。各賞の内容と受賞者を以下にご紹介します。

1. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門賞

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門では、ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはか

る一環として、以下の3部門賞を設けております。

(1) 部門功績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で、研究、教育、学会活動の面で多大な影響を及ぼし、国際的評価が高く、かつ有力な著書、論文などを著している個人または団体（法主体）に贈る。

(2) 部門学術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある学術業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

(3) 部門技術業績賞

ロボティクス・メカトロニクスの分野で萌芽的あるいは発展性のある技術開発面での業績を挙げた個人または団体（法主体）に贈る。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門賞候補者の中から日本機械学会部門賞通則第5項に基づく人数以内を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

<部門賞候補者の推薦方法及び時期>

部門賞の受賞候補者は原則として日本機械学会会員とします。部門賞募集は公募によるものとし、推薦または本人または団体（法主体）よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示致しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっています。

部門賞

部門功績賞	吉灘 裕（大阪大学）
部門学術業績賞	横小路 泰義（神戸大学）
	山海 嘉之（筑波大学）
部門技術業績賞	パナソニック株式会社 (生活支援ロボティクスの実現に向けた取り組みに対して)

2. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門一般表彰

ロボティクス・メカトロニクス分野の活性化をはかる一環として、以下の4つの一般表彰を設けています。

(1) ROBOMECH表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス部門主催講演会・シンポジウムなどにおいて、研究内容に対して高い評価を得た著者全員に対して行う。

(2) ベストプレゼンテーション表彰

当該年度のロボティクス・メカトロニクス講演会において、プレゼンテーション面に対して高い評価を得た個人に対して行う。

(3) 部門貢献表彰

部門への著しい貢献が認められる個人、または団体に対して行う。

(4) JRM表彰

Journal of Robotics and Mechatronics に掲載された優秀な論文の著者全員に対して行う。

<各賞の選考プロセス>

部門運営委員会の指名による表彰委員会（委員長は副部門長が担当）が部門表彰候補者の中から適格者を選考し、推薦理由を付して部門長に報告した後、最終決定をロボティクス・メカトロニクス部門運営委員会が行い、部門協議会を経て理事会に報告するものです。

<表彰候補者の推薦方法及び時期>

部門一般表彰の表彰候補者は原則として日本機械学会会員とします。ベストプレゼンテーション表彰は当該

年度のロボティクス・メカトロニクス講演会の実行委員会が候補者を選考し、開催日から5ヶ月以内に表彰委員会に推薦します。ROBOMECH表彰、及び部門貢献表彰候補者は公募によるものとし、推薦または本人よりの申請を部門長宛でご提出願います。募集方法は、部門ホームページや部門主催講演会などで公示しますが、推薦締切は原則として当該年度の10月末日までとなっています。なお、ROBOMECH表彰で対象とする講演会・シンポジウムは前年度の10月1日以降、当該年度の9月30日までに開催されたものとなっています。

ROBOMECH表彰

講演題目	受賞者
触覚フィードバックのある非接触タッチスクリーン (ROBOMECH2013)	吉野 数馬(東大), 篠田 裕之(東大)
適応的撮像に基づく自動・高速・高精細書籍電子化システムの開発と評価(ROBOMECH2013)	野口 翔平(東大), 溜井 美帆(東大), 山田 雅宏(東大), 渡辺 義浩(東大), 石川 正俊(東大)
把持機構を有する磁気駆動オンチップロボットによる卵細胞の除核(ROBOMECH2013)	市川 明彦(名大), 佐久間 臣耶(名大), 玉腰 貴浩(名大), 杉田 真邦(名大), 新井 史人(名大), 赤木 悟史(畜草研)
光駆動マイクロロボットを用いたリアルタイム3次元力計測システム(ROBOMECH2013)	嶋田 直矢(東大), 浅野 剛次(名大), 池内 真志(東大), 生田 幸士(東大)
ホバリング型AUV “Tuna-Sand” による伊豆・小笠原海域スミスカルデラの潜航調査(ROBOMECH2013)	西田 祐也(東大), 浦 環(東大), 坂巻 隆(東大), 小島 淳一(KDDI 研究所), 伊藤 譲(海洋工学研究所), 金 岡秀(東大)

ベストプレゼンテーション表彰

講演題目	受賞者
磁気駆動ナノマシンによる細胞内導入及び細胞内粘度計測	宮崎 弘貴(阪大)
日常環境における動的物体を反映した自律移動ロボットのための環境地図構築	新妻 実保子(中大)
触覚バイオフィードバックに基づく歩行リハビリ支援システム	岩田 浩康(早大)
揺動質量の能動上下動を用いた2足ロボットの高速リミットサイクル歩行	花澤 雄太(東工大)
サーボブレーキを用いた足こぎ車椅子の操舵制御	平田 泰久(東北大)

部門貢献表彰

主な功績・業績	受賞者
ROBOMECH2013実行委員長	坪内 孝司(筑波大学)

JRM表彰

主な功績・業績	受賞者
Development of a Small, Lightweight Rover with Elastic Wheels for Lunar Exploration(Journal of Robotics and Mechatronics Vol.24 No.6, 2012)	Kojiro Iizuka(Shinshu University), Tatsuya Sasaki(Shinshu University), Hidenori Hama (Shinshu University), Atsuro Nishitani(Shinshu University), Takeshi Kubota(IHI Corporation) and Ichiro Nakatani(Aichi University of Technology)

ロボティクス・メカトロニクス講演会2015 (ROBOMECH2015 in Kyoto) 開催案内

開催日：2015年5月17日(日)～19(火) 会場：京都市勧業館「みやこめっせ」
(京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)

講演会URL：<http://www.jsme.or.jp/rmd/robomech2015/>

ROBOMECH2015 実行委員長 永井 清 (立命館大学)

当部門主催、ロボティクス・メカトロニクス講演2015 in Kyotoは、2015年5月17日～19日に京都市勧業館「みやこめっせ」(地下鉄東西線「東山(ひがしやま)駅」から徒歩約8分)にて開催します。

5月17日はワークショップ・チュートリアル、および新たな試みとして、ロボティクス・メカトロニクス分野のさまざまな技術にかかわるシーズとニーズの情報交換を行う特別企画等を企画しています。そして5月18日と19日には、広めのスペースでポスター講演と企業展示等を行う予定です。

開催地の京都市は、金閣寺や銀閣寺、清水寺等を含む17か所の寺社で構成され、ユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録された古都京都の文化財の中心地です。また、京都市は、ロボメカ部門に関連の深い企業が集まっている京滋地区の中心でもあります。5月は新緑の美しい季節でもありますので、多数の皆様のご発表・ご参加をお待ちしております。

今後の行事の案内

●コマツ テクノセンタ見学会

2014年10月24日(金)コマツ テクノセンタ(静岡県伊豆市徳永697)

●「移動ロボットを動かしてみよう！」ー小学生を対象とした親子ロボット教室ー

2014年10月25日(土)岡山理科大学40周年記念館5階(岡山市)

●株式会社キメラ本社工場見学会

2014年11月8日(土)株式会社キメラ(室蘭市)

●見学会「新明和工業(株)甲南工場」

2014年11月12日(水)新明和工業(株)甲南工場

●フューチャードリーム！ロボメカデザインコンペ2014

2014年12月13日(土)ロボスクエア(福岡市)

<http://www.ip.kyusan-u.ac.jp/J/kougaku/tb/sakaki/rmdc2014q/>

●pico-EV・エコチャレンジ2015

2015年3月1日(日)国立東京工業高等専門学校(八王子市)

http://www.nbu.ac.jp/~picoev/_picoev2015/2015_Main.html

●第20回ロボティクス・シンポジア

2015年3月15日(日)～16日(月)軽井沢プリンスホテルウエスト(長野県軽井沢町)

<http://www.robotics-symposia.org/20th/>

●ロボティクス・メカトロニクス講演会2015(ROBOMECH2015 in KYOTO)

2015年5月17日(日)～19日(火)みやこめっせ(京都市)

<http://jsme.or.jp/rmd/robomech2015/>

●ロボティクス・メカトロニクス講演会2016(ROBOMECH2016 in YOKOHAMA)

2016年6月8日(水)～11日(土)パシフィコ横浜(横浜市)

第92期ロボティクス・メカトロニクス部門

部門長 松日楽信人(芝浦工大)
副部門長 木口量夫(九州大) 幹事 遠藤玄(医科歯科大)
編集：広報委員会
委員長 中嶋秀朗(千葉工大) 副委員長 山脇輔(防衛大)
委員 程島竜一(埼玉大) 幹事 木村仁(東工大)
部門HP：<http://www.jsme.or.jp/rmd/>

ロボメカ部門関係アドレス

■部門ホームページURL

<http://www.jsme.or.jp/rmd/>

■部門広報委員会メールアドレス

rmd@jsme.or.jp